

## 地域に密着した営林署をめざして (94)

ニツ井署 担当区事務所 ○岸野賢一  
七尾時雄

### 1. はじめに

平成3年度は、国有林野事業の新たな経営改善計画がスタートした年でありますが、この改善計画を円滑に進めて行くためには、地域住民の理解と協力を得ることが不可欠であると考えます。

当署の業務方針の中にも「地域社会との連携」を掲げており地域が開催する行事への積極的な参加と、署独自でも森林ガイド事業、森林教室の開催などを通じて地域とのふれあい、開かれた国有林、地域と密着した営林署を目指してこの一年間取り組んできた結果と、地域の人々が入りやすい営林署にと庁舎事務室の改善などを行ってきましたので、その結果と今後の取り組みについて発表します。

### 2. 各種イベントについて

#### (1) 年間計画の策定

地域の計画する各種イベントに積極的に参加するため、予め町、森林組合などと打合せを行い、地域の行事の把握に努めるとともに管内に所在する「白神山地森林生態系保護地域」「ニツ井・岳ブナ林施業公園」「きみまち阪・藤里峡県立自然公園」などのフィールドを活用した署独自のイベントの年間計画を定め計画的に実施することにしました。 (表-1・2)

#### (2) プロジェクトチーム編成

実行に当たっては、各イベント毎にプロジェクトチームを作り、イベントの内容、進め方などについて数回の会議を持ち、グループ毎に分担を決めて責任を持たせて実行した結果、どのイベントもスムーズに実行することができました。

#### (3) 主なイベントの紹介

##### ① 森林ガイド事業

当署には、原生的なブナ林の保護のため、白神山地森林生態系保護地域が平成2年3月に設定されました。

この保護地域の保全利用地区には自然観察教育林が併設されていることに着目し、地元町観光協会の後援を得て、秋田営林局管内の営林署としては他署に先駆けて森林ガイド事業に取り組み実施しました。

保護地域内の小岳（1,042m）の登山を兼ね、ブナ林の観察会を春（6月2日）秋（10月6日）の2回実施しました。

2回とも定員40名に対し遠くは神奈川県や秋田市などから2倍近い応募者があり、白神山地のブナ林に対する関心の深さは予想以上でありました。

小岳は、本州最低標高にあるハイマツ群落やウラジロヨウラク、コケモモ等の高山植物が豊富であると同時に日本一いや世界一広大なブナ原生林にふれることができることと白神山、岩木山などの360度の山脈が眺望でき参加者たちは大満足で、全員の方々がまた計画してほしいとの声がありました。

昼食時には職員手作りのタケノコ汁（春）キノコ汁（秋）に舌鼓をして何杯もおかわりする人もあり大成功でした。

また、今後の森林ガイド事業の計画などについてアンケート調査をした結果次のような回答でありました。（表-3）

#### ②ミニ森林の市

地域の住民に対し営林署のPRと、環緑販売を通じた緑化思想の普及宣伝のため、平成元年と2年は、国道に面した当署駐車場を会場に開催してきましたが、職員が前だれ精神でということを経験した地域の人々に理解してもらうためと、多くの町民が集まる二ツ井町の市日（5と10のつく日）に着目し、町商工会の理解を得て市場の一角を提供してもらい、春、秋の2回、当署独自にミニ森林の市を開催しました。

会場にはシャクナゲ、ナナカマド等の環緑、職員手作りの小木工品、山菜、シイタケほだ木、秋田スギの末木や伐根で作った杭、椅子等を販売するとともに分収育林のPRにも努めました。

この結果、収入の一助にすることができたのと、何と言っても「営林署の職員も随分変わったなあ」と言う地域の人々の高い評価を受け地域住民とのふれあいの場として大いに好評でありました。

#### ③森林教室、治山教室の開催

国有林野事業に接しながら森林、林業のPRと緑化思想の普及宣伝のため、森林教室を開催しました。

春は7月10日藤里町立米田小学校を対象に二ツ井、岳ブナ林施業公園でミニ炭焼き、測樹などの体験と、森林の働きなどについて勉強し会いました。

秋は10月11日二ツ井町立切石小学校5・6年生を秋の床替作業、木の測り方、丸太切り体験等を行いました。

また、治山教室は11月29日二ツ井町立種梅小学校5・6年生を対象に堤名板の標語の募集と合わせて現地で治山ダムの働き等について勉強し会いました、児童からは「営林署って私達のためにいろいろなことをやってくれている今後も頑張ってください、私達ももっと森林・林業について勉強したい」等の感想をのべられ大変有意義な一日でした

#### ④秋田杉の里二ツ井まつりなど

秋田杉の里二ツ井まつりは、二ツ井町木材産業協同組合、森林組合、観光協会の主催で8月4日から7日までの4日間、二ツ井町きみまち阪公園の駐車場を会場に、秋田の竿灯、青森のねぶたなど東北の夏祭りシーズンに合わせて秋田杉の里をPRしようと開催しているもので、当署でも国有林をPRする絶好の機会と捕らえ、会場の一角に森林コーナーを設けて、「白神山地」「昔の山仕事」の写真パネルの展示や、職員手作りの小木工品の販売、分収育林のPR等を行いました。この祭りは関東、関西などから多くの県外客が訪れることから、大きな効果を上げることができました。

また、森と湖に親しむ旬間や二ツ井町産業祭などでは「森林コーナー」を設け、パネル展示や木工、丸太切りコーナー等の体験コーナー、小木工品の販売等に努めております。

### 3. 地域に開かれた営林署

当署は、各種イベントのみではなく地域に開かれた入りやすい営林署をめざして、事務室に木工品展示コーナーや、来客コーナー、窓口サービスコーナーを設置し、来客の方々には大変好評を得ております。

### 4. 今後の取り組み

今後については、地元藤里町、観光協会等と連携を図りながら「原生的なブナ林を持つ白神山地森林生態系保護地域」での首都圏住民を対象にした宿泊ツアーの検討と、八森町と連携した二ツ森、ぶなっこランドでの森林ガイド事業の拡大実施や、「二ツ井岳ブナ林施業公園」「きみまち阪、藤里峡県立自然公園」等のフィールドを生かし、地元小学校を対象にした森林教室の開催、森林浴、炭焼き等を体験する森林ツアーの実施、二ツ井町市日に合わせたミニ森林の市の拡大等、署独自のイベントを行うとともに、地域が開催する行事には積極的に参画し、前だれ精神で地域に飛び込み、地域の人になり、地域に密着した営林署を目指していきたいと思っております。

#### 4. おわりに

以上、署独自のイベントと地域との連携によるイベントの中から主なものや庁舎事務室の改善の一例と今後の取り組みについて紹介しましたが、実行に当たってはグループ毎に分担実行したことから職員の職務意欲の向上になり、それが地域住民から信頼され更には地域の理解を得ることに繋がったものと思っており、更に地域に密着した営林署を目指して努めていきたいと思っております。

表-1

#### 地 域 の 行 事 等

行 事 名	実 施 内 容	時 期
交通安全運動	<ul style="list-style-type: none"><li>・町民交通安全大会</li><li>・街頭パレード</li><li>・交差点における街頭指導</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・5月中旬</li><li>・9月下旬</li></ul>
山火事防止	<ul style="list-style-type: none"><li>・県、町と山火事防止パレード</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・4月下旬</li></ul>
森と湖に親しむ旬間	<ul style="list-style-type: none"><li>・県、町でイベント</li><li>・パネル、木工品等の展示</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・7月中旬</li></ul>
秋田杉の里二ツ井まつり	<ul style="list-style-type: none"><li>・町、木産連でイベント</li><li>・パネル展示、木工品の販売 丸太切り体験等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・8月4日～7日</li></ul>
二ツ井町産業祭	<ul style="list-style-type: none"><li>・町、森林組合</li><li>・林業機械の展示、環緑、木工品等の販売</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・11月上旬</li></ul>

表-2

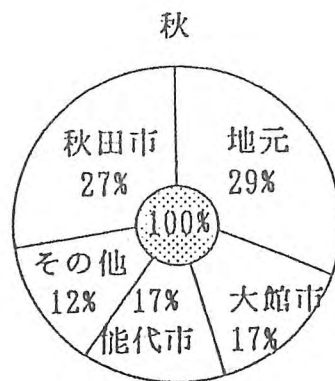
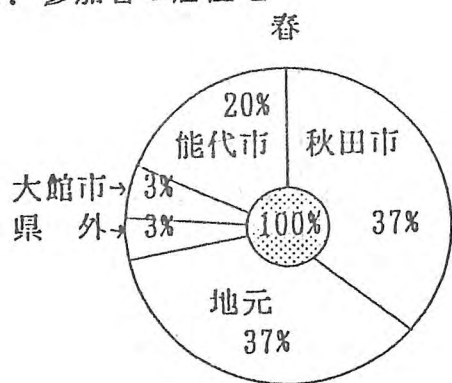
## 署独自の行事等

行事名	実施内容	時期
ミニ森林の市	・町の市日で環緑、木工品等の販売	・5月中旬 ・10月中旬
O Bと緑に親しむ会	・二ツ井岳ブナ林施業公園で森林浴等	・7月上旬 ・11月上旬
クリーンアップ作戦	・白神山地を清掃（観光協会に働き掛け）	・春季 ・秋季
高山植物盗採取締と林道点検	・高山植物の盗採防止と交通安全の呼び掛け（能代警察署）	・6月上旬 ・9月下旬
森林教室	・管内小学校高学年を対象に森林の働きなど	・7月中旬 ・11月上旬
植樹祭（山火事防止協議会）	・町、地元集落代表等に働き掛け緑化思想の普及啓蒙	・4月下旬
森林ツアー	・白神山地（小岳）でブナ林観察会	・6月上旬 ・9月下旬
治山教室	・地元小学校を対象にダムの働きなど	・10月下旬
木工教室	・地元幼稚園を対象に木工教室	・1月下旬～2月上旬

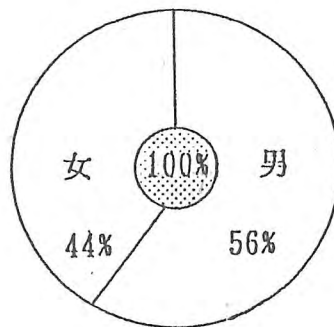
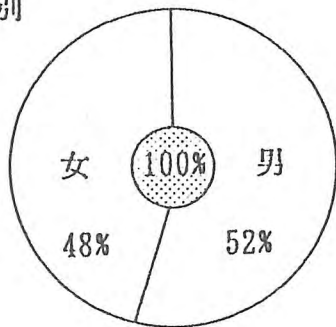
表-3

アンケート調査結果

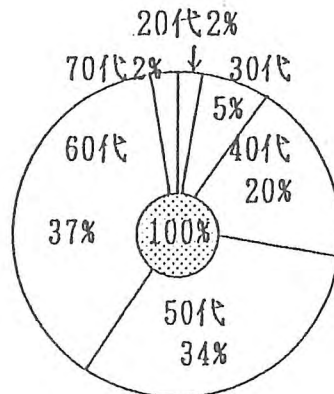
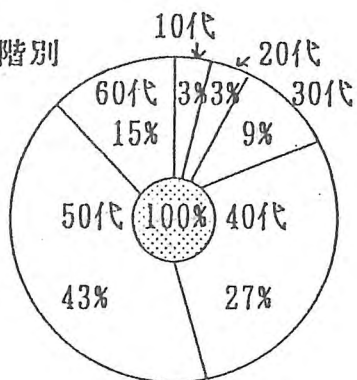
1. 参加者の居住地



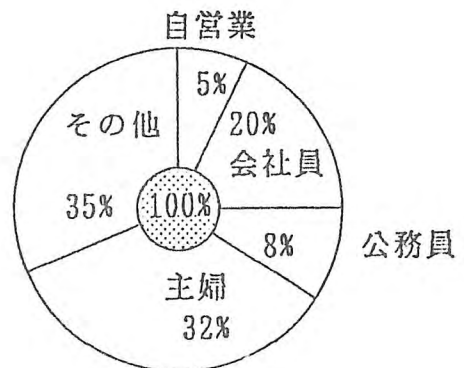
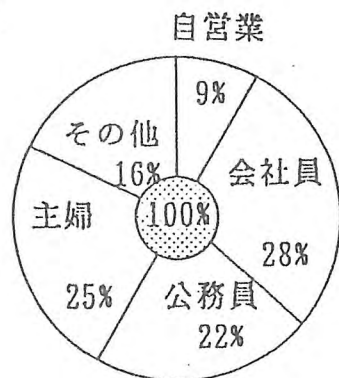
2. 男女別



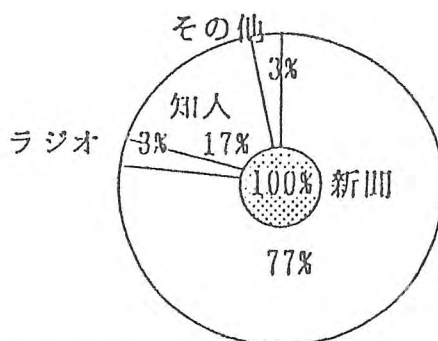
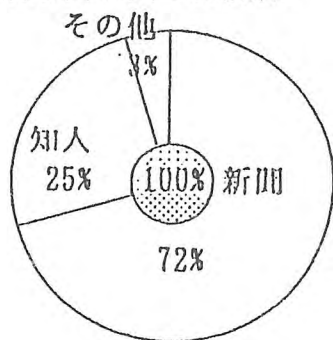
3. 年齢階別



4. 職業

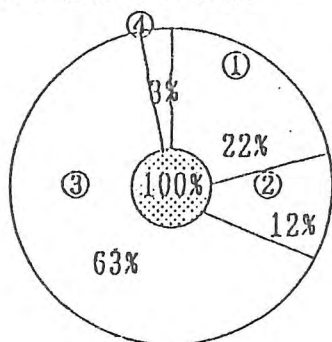


5. プナ観察会を知った媒体

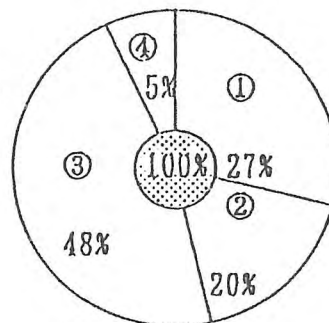


(注) 事前に新聞関係に「森林ツアー」の実施案内の掲載を依頼したことにより、新聞が多い。

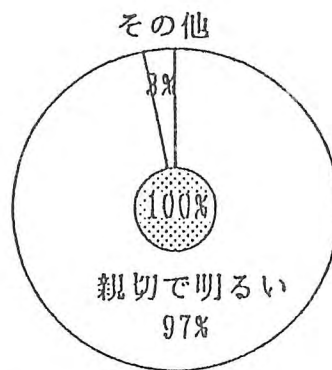
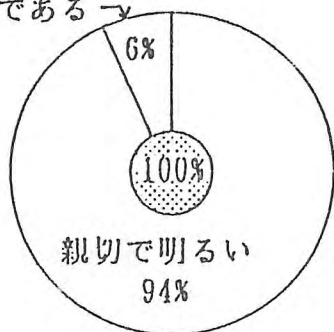
6. 参加した動機



- ① 登山が好きだから
- ② 自然保護に関心が有るから
- ③ 森林生態系保護地域に行ってみたい
- ④ その他



7. 営林署員の対応  
役人的である→



(注) 春には役人的という回答があったが、秋には無かった。

8. 今後のプナ林観察会について

